

# リスクコミュニケーションの実施状況に関するアンケート調査結果 (令和2年1月実施)

## 1. 回答の状況

振興局	配布数	回答数	回収率(%)
県北	148	62	41.9
県中	162	69	42.6
県南	81	43	53.1
会津	62	29	46.8
南会津	14	8	57.1
相双	54	32	59.3
いわき	110	60	54.5
計	631	303	48.0

## 2. 回答の内容

〔設問1〕

**Q1 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進、地域との信頼関係の構築、地域への貢献等に関して、実施状況をお答えください。(複数回答可)**

回答事業者数 303

(下段は割合を示す。)

	実施済み	実施検討中	実施を検討していない	未回答	計
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	124 (40.9%)	43 (14.2%)	131 (43.2%)	5 1.7%	303 (100.0%)
2 社内勉強会、研修会の開催	129 (42.6%)	53 (17.5%)	117 (38.6%)	4 (1.3%)	303 (100.0%)
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	52 (17.2%)	24 (7.9%)	224 (73.9%)	3 (1.0%)	303 (100.0%)
4 工場見学会の実施	110 (36.3%)	24 (7.9%)	165 (54.5%)	4 (1.3%)	303 (100.0%)
5 地域と連携した防災訓練の実施	39 (12.9%)	32 (10.6%)	228 (75.2%)	4 (1.3%)	303 (100.0%)
6 地域への説明会の実施	30 (9.9%)	30 (9.9%)	240 (79.2%)	3 (1.0%)	303 (100.0%)
7 地域の方々への個別訪問	33 (10.9%)	17 (5.6%)	250 (82.5%)	3 (1.0%)	303 (100.0%)
8 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	178 (58.7%)	35 (11.6%)	89 (29.4%)	1 (0.3%)	303 (100.0%)
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等についての説明(会の設営、主催は地域の方々)	43 (14.2%)	33 (10.9%)	224 (73.9%)	3 (1.0%)	303 (100.0%)
10 地域の方々との懇談会、懇親会等(会の設営、主催は地域の方々)	71 (23.4%)	24 (7.9%)	204 (67.3%)	4 (1.3%)	303 (100.0%)
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等	38 (12.5%)	27 (8.9%)	234 (77.2%)	4 (1.3%)	303 (100.0%)
12 環境(CSR)報告書の作成(本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい)	155 (51.2%)	30 (9.9%)	116 (38.3%)	2 (0.7%)	303 (100.0%)
13 広報誌等の作成、配布	46 (15.2%)	12 (4.0%)	241 (79.5%)	4 (1.3%)	303 (100.0%)
14 化学物質情報(種類、排出量等)の開示	146 (48.2%)	17 (5.6%)	138 (45.5%)	2 (0.7%)	303 (100.0%)
15 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定	230 (75.9%)	13 (4.3%)	58 (19.1%)	2 (0.7%)	303 (100.0%)
16 その他	17 (5.6%)	0 (0.0%)	75 (24.8%)	211 (69.6%)	303 (100.0%)

(その他記述)

- ・ 福島議定書への参加、伊達市様との環境打合せ
- ・ 安全衛生部会、各部門での巡視での改善など
- ・ 工場内外の清掃、環境事故訓練
- ・ 郡山市から香りについての講座を要望され、ふれあい科学館などで年1回講義している。
- ・ ※2/21 小学5年生～中学3年生 30名
- ・ 中学生の職場体験
- ・ 4 →過去に建築業励会の要請で実施実績あり 1 2 →本社HPで開示
- ・ ISO14001
- ・ ISO14001認証取得、EMS活動、緊急対応訓練、地域行事への協賛・参加、化学物質リスクアセスメント、工場内外の清掃活動
- ・ 環境安全部門での「化学物質リスクコミュニケーション」内容の把握
- ・ 紛争鉱物由来物質の不使用、ISO-14001認証
- ・ 遊休地の緑地化整備
- ・ 1 →特定の担当部門を定めず、事案に応じて関係室部、事業所にて対応しております。
- ・ 地区行事等に駐車場の提供
- ・ 近隣神社祭への協賛、市の環境美化活動へ参加
- ・ ISO14001の運用
- ・ インターン生の受け入れ (中・校・大学)
- ・ ISO14001取得

**Q2-1 [Q1]にて「実施している」が1つ以上あった事業所にお尋ねします。リスクコミュニケーション等への取組を実施する理由は何ですか。(複数回答可)**

**回答事業者数 265**

	選択事業者数	回答事業者数に対する割合 (%)
1 企業としての社会的責任のため	236	89.1%
2 企業イメージを向上させるため	85	32.1%
3 住民等から要請があったため	5	1.9%
4 住民等と良好な関係を築くため	89	33.6%
5 過去に住民等とのトラブルまたは事故があり、その対応のため	3	1.1%
6 環境保全、リスク管理等の社員教育のため	110	41.5%
7 行政から指示があったため	23	8.7%
8 本社、関連会社等の方針	106	40.0%
9 その他	5	1.9%

(その他記述)

- ・ 近隣小学校より要請があった為
- ・ 地域企業合同で開催するイベント
- ・ 工業団地としての共同取組み
- ・ 法令上のための測定
- ・ 行政からの依頼があったため

**Q2-2 [Q1]にて「実施している」が1つもない事業所にお尋ねします。リスクコミュニケーション等への取組を実施しない理由は何ですか。(複数回答可)**

**回答事業者数 36**

	選択 事業者数	回答事業者数に 対する割合 (%)
1 コストがかかるため	4	11.1%
2 人手がないため	18	50.0%
3 地域とのつながりがないため	13	36.1%
4 リスクコミュニケーションを実施する知識、 スキルがないため	9	25.0%
5 必要性が感じられないため	10	27.8%
6 その他	6	16.7%

(その他記述)

- ・ 社内ルールにより徹底して運用管理を行っているため  
当工場で使用している化学物質はエタノール（年170リットル程度）、錫96%銀0.5%銅3%糸半田（年4kg程度）
- ・ のみで周辺へのリスクも少ないため、必要性が感じられない。
- ・ 会社としての方針がない為
- ・ 化学物質使用1点のみ又、少量の為
- ・ 工業団地内の為、地域住民との接点がない
- ・ PRTRの提出等による情報の開示は行っているため

**Q3 リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施しやすくなると思いますか。**

(複数回答可)

回答事業者数 287

	選択 事業者数	回答事業者数に 対する割合 (%)
1 リスコミ実施のガイドライン、マニュアル	195	67.9%
2 リスコミ実施事例の紹介	183	63.8%
3 リスコミについての講習会、講演会	100	34.8%
4 専門家（アドバイザー）の派遣	34	11.8%
5 行政の助言、仲介	46	16.0%
6 行政による場の提供	35	12.2%
7 その他	5	1.7%

(その他記述)

- ・ 助成金制度
- ・ 経営者の判断・指示
- ・ 現状のままの取り組みを今後も継続する予定です
- ・ 関連法令の整備等  
リスクコミュニケーション自体、どのような指導があっても実施しやすくなる事は無いと思います。災害に備える  
行政の動きが大変遅く、一企業が取り組んでも無駄だと思うとやる気になりません。

**Q4 リスクコミュニケーション、化学物質排出、環境活動、CSR等について、興味があること、知りたいことセミナー等でテーマにしてほしいことがありましたら、記入して下さい。**

回答事業者数 29

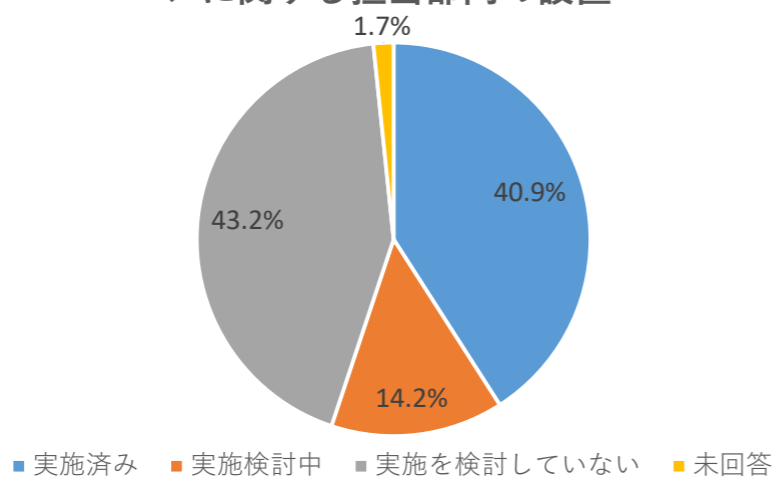
- ・ 福島市近隣で実施しているボランティア活動
- ・ 化学物質による健康への障害、生態系への影響
- ・ 他社の取り組み内容
- ・ PRTR法、福島県化学物質指針等の化学物質使用量把握方法についての講習会をお願いしたい。
- ・ 法律の改定の際のリーフレットの送付
- ・ 製品含有化学物質調査の対応
- ・ 法改正についての説明
- ・ 手探りでやっている部分もあるので、行政の助言がもっと欲しい
- ・ 法規制（深掘した勉強会、セミナーの開催）、他社のRC取組事例の公開など  
昨年の水害で化学物質リスクをされた企業がある場合はその内容、化学物質リスクマネジメントを実施されている会社での事例など
- ・ 化学物質排出について等
- ・ 世界、日本や地域のトレンドや取組み等
- ・ 環境関係の法規制（福島県条例含む）
- ・ SDGsに関するセミナー

- 化学物質管理及び省エネ・廃棄物削減等の各環境活動・CSRについては社内、及びグループ会社として活動中。自社工場が工業団地であり、近隣に住民が少ない。
  - CSR活動について、セミナー等あったら参加したいと思う
  - 取り組み事例
  - 取り組み事例
  - リスクコミュニケーションに関わる費用対効果と事例報告
  - 化学物質が人へ与える影響
  - 化学物質のリスク等を題材にしたセミナーなどの福島での開催をお願いしたい。
  - 他社の取組事例の講演会など
  - 企業としてのメリット
  - 特になし、親会社主体で活動を展開中
  - 同業他社など取り組み事例の共有化
  - 環境法令、特に県条例や市の条例で規制を強化している部分があれば知りたい。
- 10月の台風による被害は、弊社では大した事は無かったですが、川の氾濫等による毒劇物の流出等、他人事でなく感じました。地震と違い、何日か前に予想できる点、減災の取り組みがしやすい筈です。川の浚渫、堤防や増水時の水の逃げ道など、草が生えてこない、雨が少ない冬期に前倒しで取り組んでいただきたいです。
- 各企業の取り組み事例の紹介。化学物質リスクアセスメント評価後の具体的改善事例紹介。
  - リスクコミュニケーションの実例、各企業の化学物質の管理方法

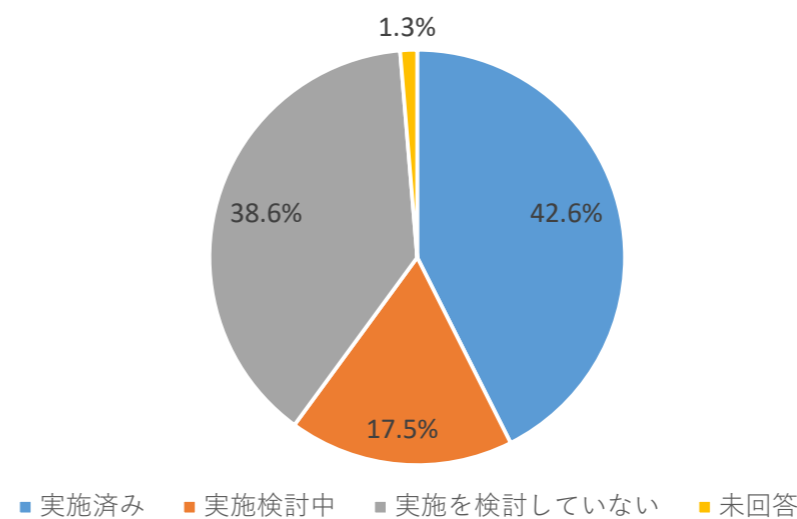
## Q1・Q2-1・Q2-2・Q3の集計結果(グラフ)

### Q1

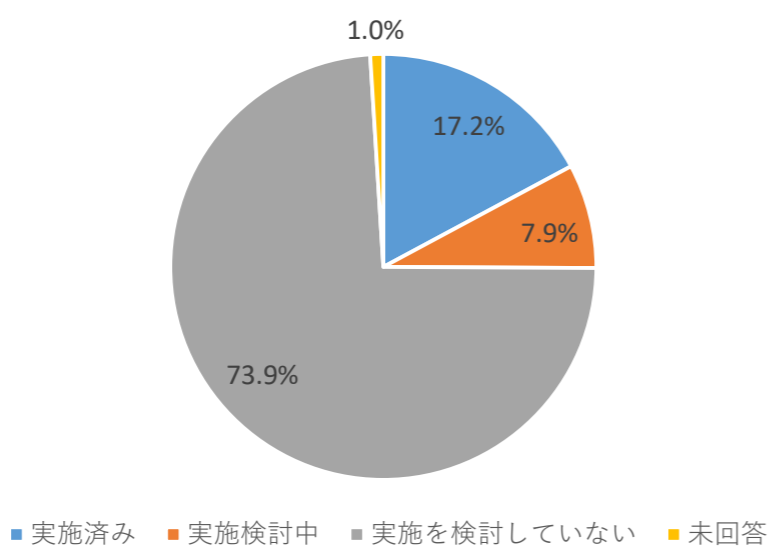
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置



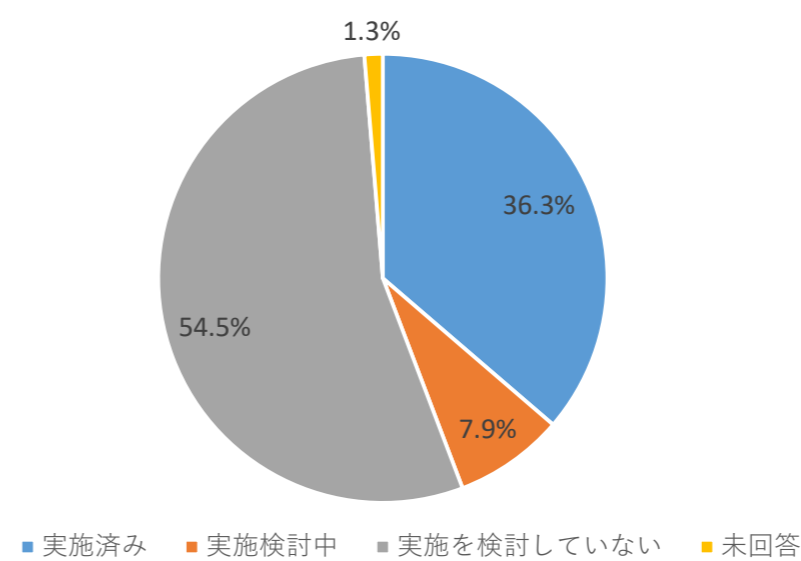
2 社内勉強会、研修会の開催



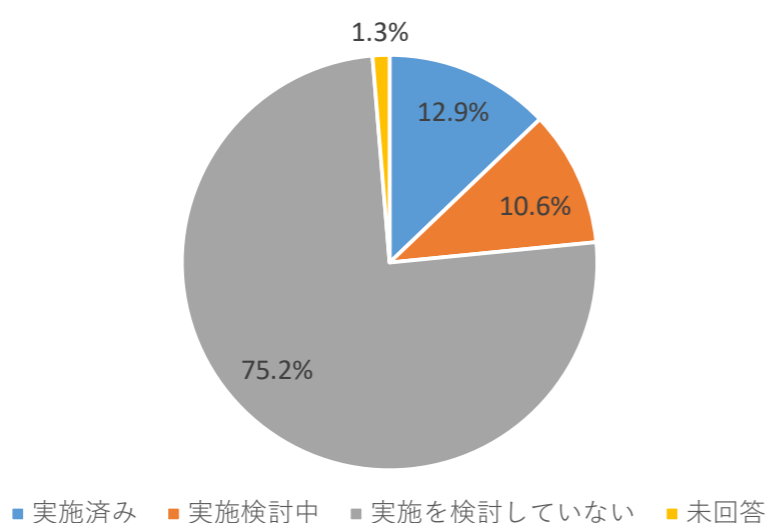
3 夏祭り、子供祭り等の催事の実施



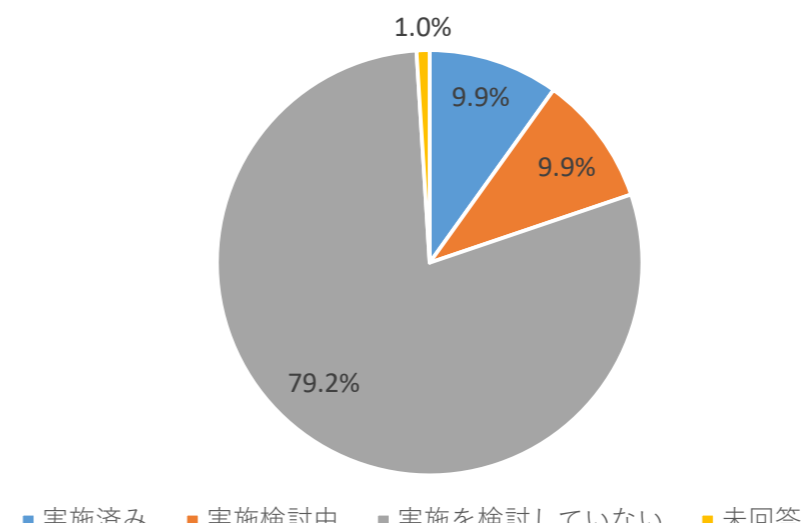
4 工場見学会の実施



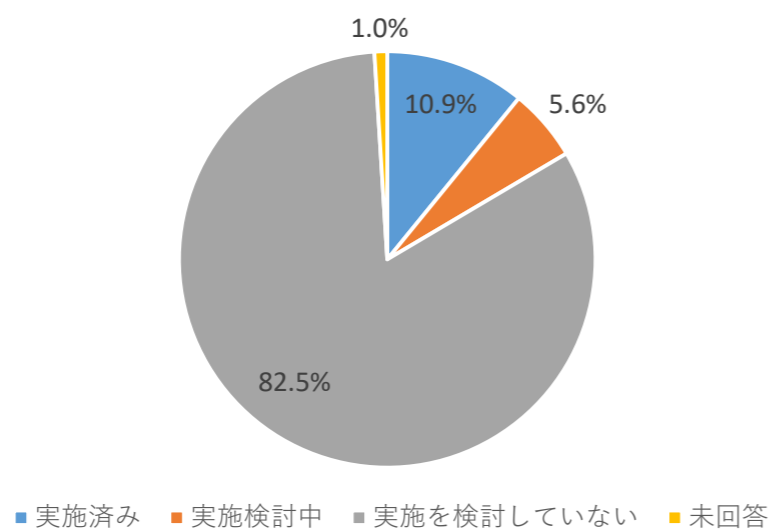
5 地域と連携した防災訓練の実施



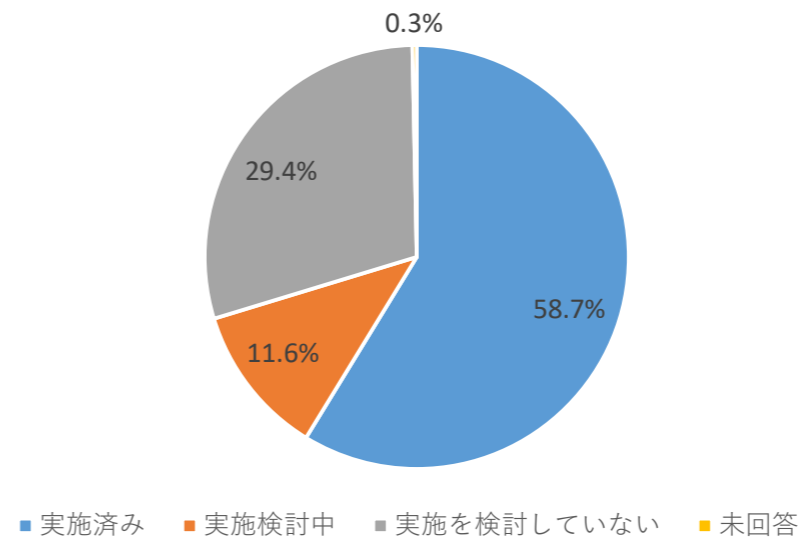
6 地域への説明会の実施



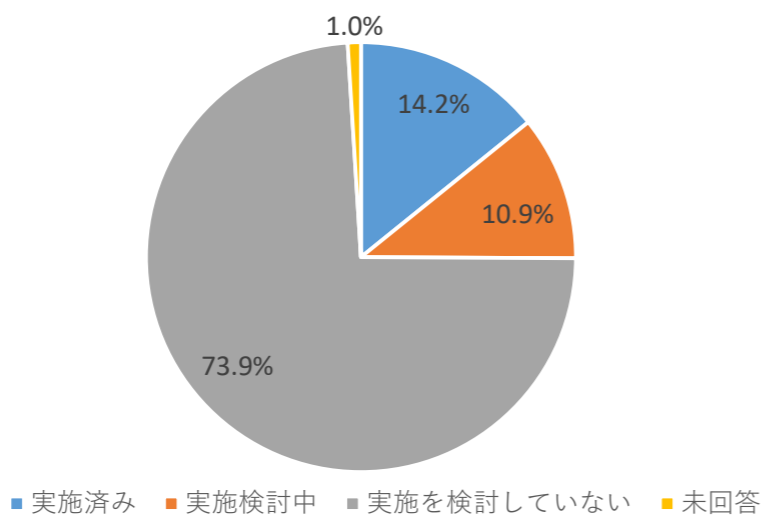
7 地域の方々への個別訪問



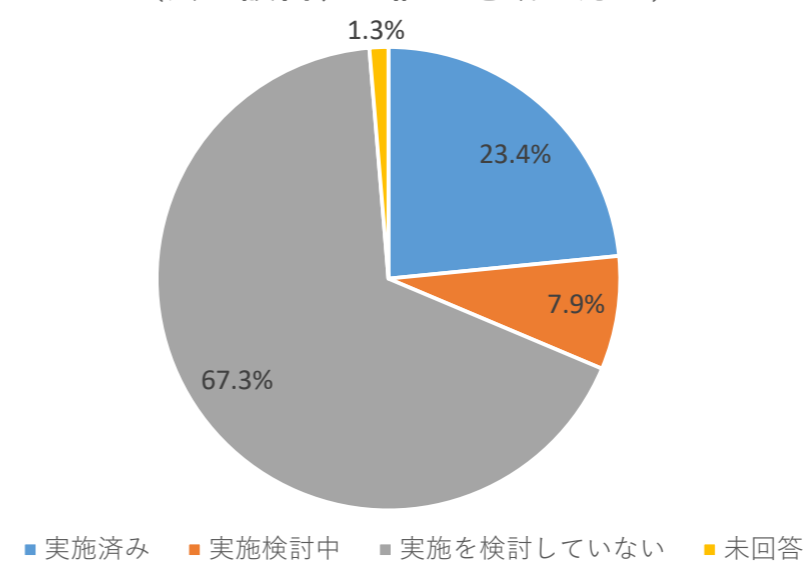
8 地域の清掃活動、環境保全活動への参加



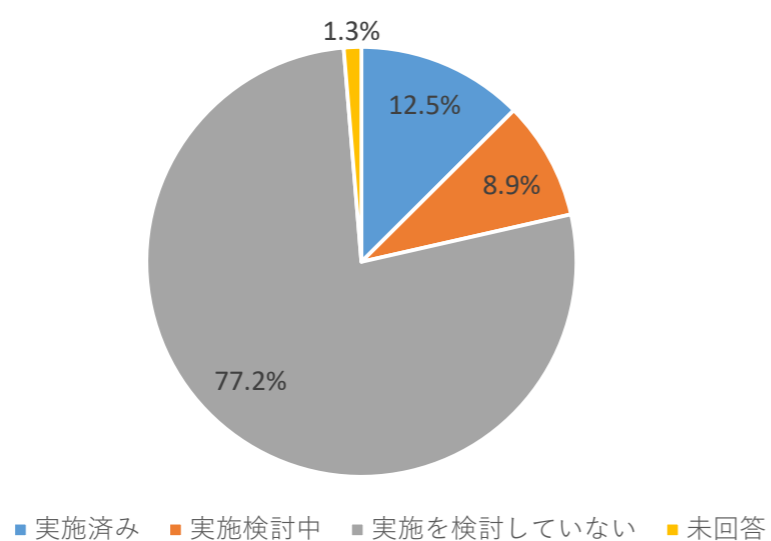
9 自治会の集會に出席し、事業所の操業状況、環境対策等についての説明（会の設営、主催は地域の方々）



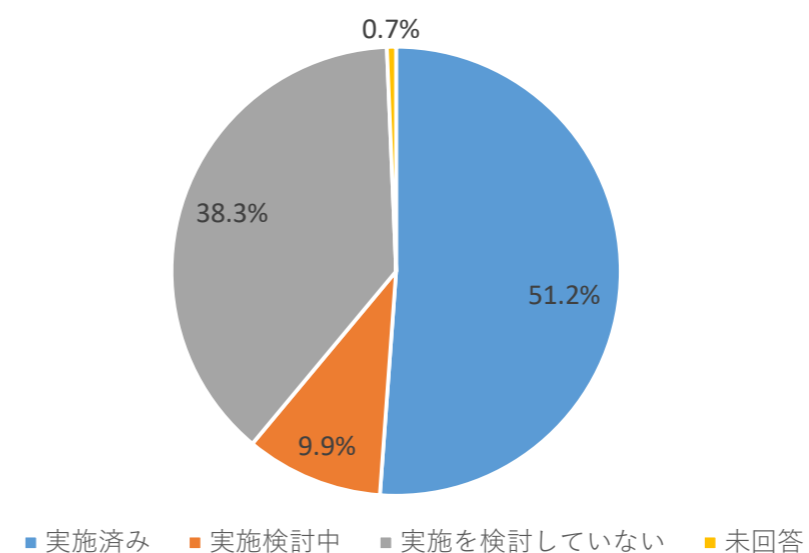
10 地域の方々との懇談会、懇親会等（会の設営、主催は地域の方々）



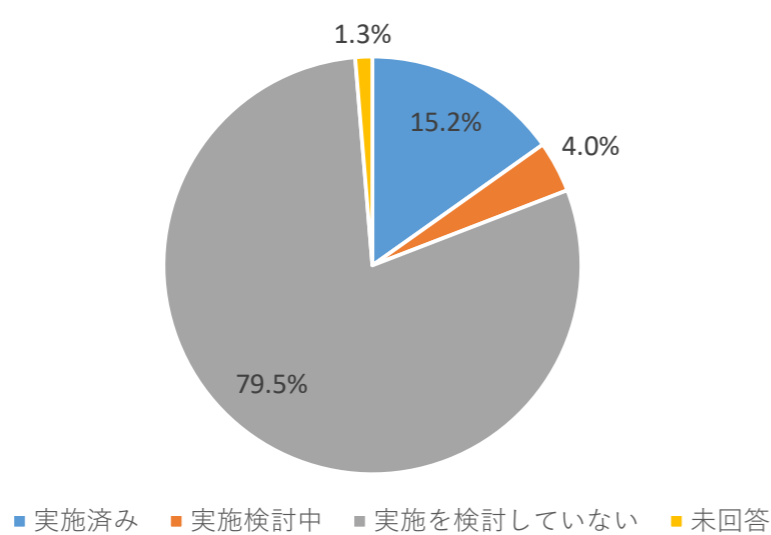
11 小・中学生を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等



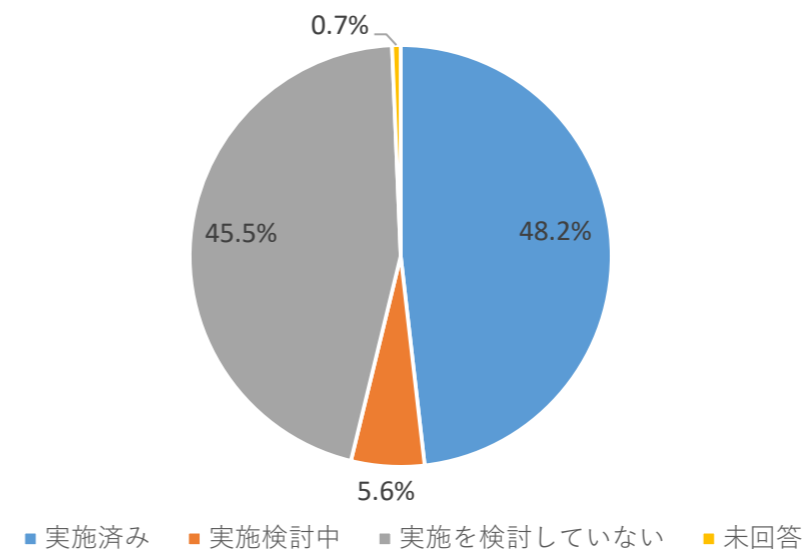
12 環境（CSR）報告書の作成（本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでもよい）



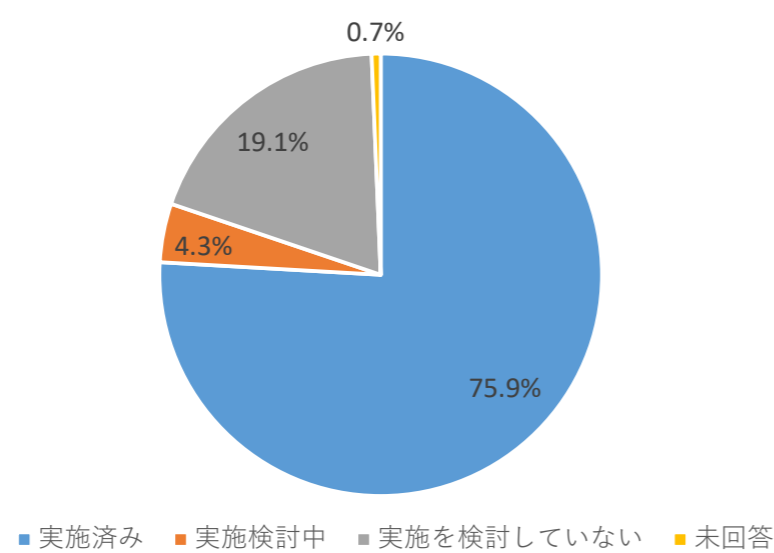
13 広報誌等の作成、配布



14 化学物質情報（種類、排出量等）の開示

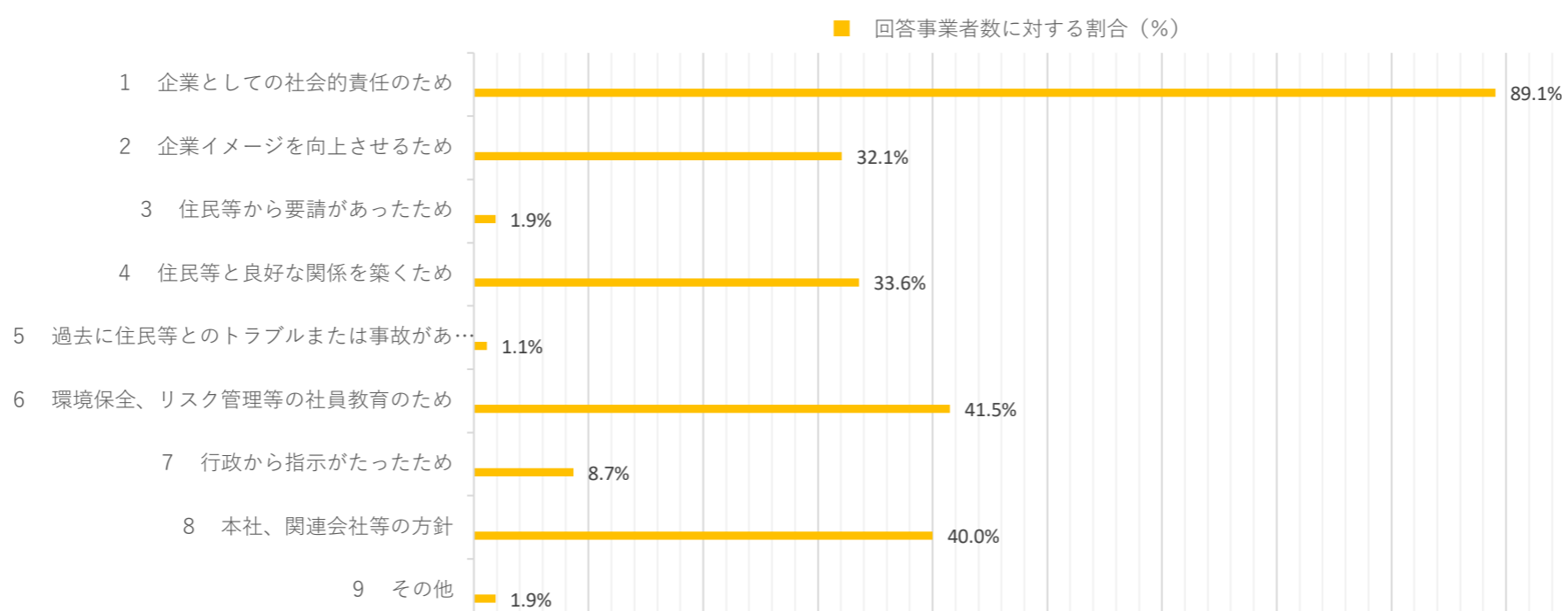


### 15 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定

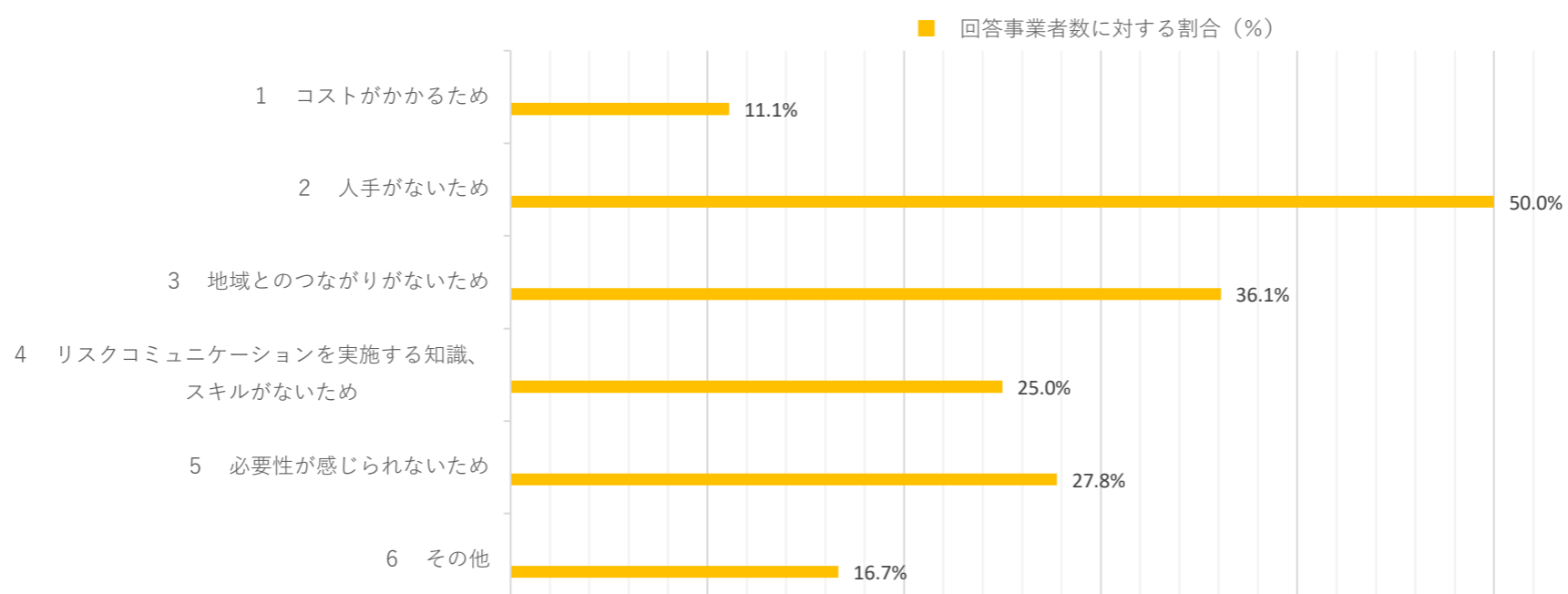


## Q2

### Q2-1 リスクコミュニケーション等への取組を実施する理由



### Q2-2 リスクコミュニケーション等への取組を実施しない理由



## Q3

### Q3 リスクコミュニケーションを実施しやすくするもの

